

第85回一般質問一覧表

3.12.21

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
1	東野敏弘	産業廃棄物保管施設の建設について！	(1)黒田庄町石原に建設中の産業廃棄物保管施設の現状について聞く。 11月18日付け神戸新聞北播版のトップ記事に、「西脇市黒田庄町山の斜面に建設中」「産廃施設巡り紛糾」という見出しの記事が掲載された。市行政は、この問題について、どのように把握しているのかを問う。	部長
			(2)黒田庄町石原に建設中の産業廃棄物保管施設の問題点を問う。 産業廃棄物保管施設の建設の問題点について、土砂崩れの危険性、農道の破損と農道使用の問題、野尾谷川に架かる橋の強度、野尾谷川の水質汚染等の問題がある。その個々の問題点について、どう把握しているのかを問う。	
			(3)地元集落の強い反対を受け、市行政としてどのように対応するのか。 地元集落の住民が、産業廃棄物保管施設の建設に対して、強い危惧を抱かれ、説明会での説明に対しても、「施設の稼働を容認できない」との意見書を提出されている。また、集落全体で意見書同意者署名も集められている。地元住民の強い思いに対して、市行政として今後どのように対応するのか、市長の見解を聞く。	市長
		ふるさと奨学金の提案	(1)奨学金貸付に変わる施策を西脇市として考えるべきではないか。	部長
			(2)仮称「ふるさと奨学金」制度の創設の提案。 仮称「ふるさと奨学金」制度を提案する。(月5万円、4年間240万円支給。1年間10名を限度とする。)市財政の負担はどうか。良識ある市民や西脇市出身者に呼び掛けて行うクラウドファンディングによる制度設計も考えられるのではないかを問う。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(3)大学進学等で、一時期西脇市を離れた若者が西脇市にUターンしやすい施策の必要性について。</p> <p>西脇市で生まれ育った若者が、西脇市に愛着を持つ取組みについて。西脇市で生まれ育った優秀な若者が、Uターンしようと思える施策を考える必要があると考えるが、市長の考えを聞く。</p>	市長
2	村岡栄紀	「共創のまち西脇」の構築を目指して	<p>(1)人口減少や少子高齢化といった急速な社会の変化や市民ニーズの多様化・複雑化により、行政課題が大きく増加・多様化してくる中、市民のニーズに行政ですべて応えることは不可能であると考えが。</p> <p>(2)多様化する課題のうち、行政でなければできない業務をしっかりと行い、その成果を周知し、その上で市民に対応いただきたい事業を整理し、市民の協力のもとで楽しみながら取り組んでもらえる仕組みや場・機会を行政がつくっていくことが重要だと考えるが。</p> <p>(3)共創のまちづくりにおける地域対策委員配置の目的とこれまでの成果や課題は。</p> <p>(4)「共創のまち西脇」を目指す中で、地域対策委員のあり方や今後の取組の方向性がこれまで以上に重要となってくると考えるが。</p> <p>(5)まちづくり活動を継続的に続けていく上での課題として、資金の問題よりも活動の担い手となる人材の不足が全体の8割を占める大きな課題だと言われているが。</p> <p>(6)「西脇のことが好き」「西脇は本当にいいまちです」という市民の思いを、どのような行政の支援で、まちづくりの行動につながる「市民力」へと前進させることができると考えているのか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(7)本市においても、これまでとは異なる人材の確保や、多くの職員が地域の現場に飛び出し、市民と一緒にまちづくり活動で活躍してもらうための意識改革や職員育成の取組、人事評価などが今後必要になってくると考えるが。	部長
			(8)ズンチャッチャ夜市のような、民間が主体となった「まちを元気にするための賑わいの創出」や「経済的に儲かる仕組みづくり」「社会問題の解決」などを継続して実施していくための、組織や団体を含めた“人づくり”が今後の市政運営のキーワードとなってくると考えるが、市長の考えや展望は。	市長
3	高瀬 洋	空家対策について	(1)「西脇市空家等の適正管理に関する条例」に関して 県の空家条例があるので、市の条例制定を見合わせていた時期もあったが、条例制定によりどのようなメリットがあったかを問う。	部長
			(2)市で把握している空き家の分類について 空き家の状況によって打つ手も異なってくる。どのような状態の空き家が何件あるのかを問う。	
			(3)西脇市の空家条例で指定された特定空家について 条例の制定以降、特定空家に指定した基準やその後の対応について問う。	
			(4)取り壊すしかない空き家の対応について 放置していると危険な空き家については早めの対応が必要であるが、その対応について問う。	
			(5)空き家の安全対策予算(250万円)について この予算はどのような対策に使うのか。	
			(6)今回の特定空家の対応を通じての反省や今後の対策 地元との連携や所有者との調整など今回の特定空家への対処は苦労もあったが、経験にもなったと考える。今回の対応等を通じて市長の空家対策への取組についての考えを問う。	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
4	高瀬弘行	G I G A スクール導入に伴い、児童生徒に貸与されるタブレット端末の故障・破損時の対応について	(1)過失による故障や破損時の補償について 令和3年12月9日文教民生常任委員会資料によると、タブレットの過失による故障や破損については、保護者負担となっている。しかし、近隣の自治体ではすべて市町の負担となっており、早急に改善すること。 (中学校を卒業する生徒数に比べ小学校入学の児童数は少なく、不要となる予備機による対応が可能と考える。)	教育長
		地域医療の充実について	(1)西脇病院を利用される患者向けに、無料のWi-Fi環境を整えること 患者サービスの充実、利便性の向上、療養環境の改善を図るため。	部長
		新型コロナウイルス感染症対策について	(1)手指消毒については、「エタノール70%」以上を含有した手指消毒液を使用することを広報などで、周知・徹底すること。 厚生労働省では、新型コロナ対策としての手指消毒は、濃度70%以上のエタノールアルコールを含有した消毒液を推奨している。しかし、多くの住民はその事実を知ることなく、家庭をはじめ店舗などにおいても、その基準を満たしていない「消毒液」が多くみられるため。	市長
			(2)感染症の専門家を加えた「新型コロナウイルス感染症対策本部」の設置について 西脇市の新型コロナウイルス感染症対策は、概ね、兵庫県において策定される「兵庫県対処方針」に基づき対応している。一方、その発症数は、都市部と西脇市では、大きな差異があり、地域の実情に関わりなく、社会・経済活動は大きな制約を受けているともいえる。 そのため、感染症の専門家による対策本部を設置し、地域の実情に応じた感染拡大防止対策を行うことが有意義と考える。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
5	浅田康子	中学校の制服について	(1)市内の中学生で、LGBTQの観点から制服に違和感を覚えている生徒がいるかどうかを把握しているのか	部長
			(2)生徒の実態を把握し、具体的にどのように対応しているのか	
			(3)「多様性を配慮した制服」に向けて具体的な取組を問う	
		アフターコロナを見据えた観光交流	(1)これまでの地域資源を生かした観光の取組と、コロナによる影響は	
			(2)「食とクラフト西脇体験ツアー」の内容と実施方法について	
(3)定住自立圏形成協定を締結している広域で取り組む観光について	市長			
(4)2025年大阪・関西万博での西脇フィールドパビリオンの誘致について				
6	坂部武美	居住誘導区域における活性化策について	(1)東の拠点に年間50万人を集める手法とは	市長
			①オリナスがオープンして7カ月経過した。何人来られているか	
			②24時間営業の商業施設もオープンした。年間何人来られると予測しているか	
			③50万人を目指すエリア・施設とは	
			(2)都市計画道路和布郷瀬線の整備は中心市街地の活性化にどのような影響を与えるのか	
			①現計画案は市から提示したのか、区民からの要望に基づき計画案を策定したのか	
			②西脇区の説明会で現計画の概算は提示しなかったのか	
			③最終的には和布町の重春橋交差点まで区画整理事業として整備する計画か	
④なぜ、土地区画整理事業でなければならないのか。他の手法は考えられないのか。都市計画道路としての道路環境、景観から判断してベストの手法なのか				
⑤和布町の意見は				
⑥今後のスケジュールは。事業着手の方針が決まればどのような手順を踏むのか。都市計画決定・都市計画審議会等				

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(3)オリナス周辺・中心市街地の活性化策はミライエは学びの場に50万人。東の拠点でどのような手法で50万人集めるのか	
			(4)居住誘導区域Bの活性化策は市の中心は西の野村地区に移っている。しばざくら通り商店街を中心とした居住誘導区域Bは今のままでよいか。活性化策は	
7	寺北建樹	新型コロナウィルス対策	(1)市独自のPCR検査を無料実施すべきではないか 新たな変異株「オミクロン株」が出現し、第6波が起こりうると警鐘が鳴らされている。安全・安心な市民生活の為に、無料でのPCR検査を実施すべきではないか	市長
		学校給食	(1)パンの原料を輸入小麦から国産小麦に変更すべきではないか 輸入小麦にはグリホサートと呼ばれる除草剤が、アメリカ産で90%以上、カナダ産では100%の高い検出率で残留しているとの検査結果が出ている	教育長
		特別障害者手当	(1)要介護4・5の人たちへの積極的なお知らせ 特別障害者手当の受給者の中に要介護4・5の人たちがどれだけいるのか。積極的なお知らせが行き届いているのか	市長
8	杉本佳隆	新型コロナウィルス第6波に向けた対策について	(1)現在、感染者数は減少傾向だが、変異株『オミクロン株』も発生し、3回目のワクチン接種が重要だと思う。また高齢者の接種が寒い時期と考えられる。市民が安心して接種できる体制作りとともに多くの方へ接種できる工夫が必要だと思うが、どのような対策を考えているのか。 ①1、2回目の接種時、車椅子の利用人数は ②寒い時期の接種会場の対策は ③1、2回目の接種は、肩の出しやすい服装だと案内していたが、厚着されている場合の対策は ④車椅子や厚着の方のために介助スタッフを確保することを提案する。 ⑤託児所の評価は。	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(2)ファイザー社製、武田モデルナ社製の接種選択について。</p> <p>3回目の接種は、半分半分で供給されると報道されている。どのような配分で集団接種、個別接種を行うのか。また希望が偏った場合の西脇市の対応は。</p> <p>①医療関係者の接種時期は。</p> <p>②現在の西脇市へのワクチン供給状況や予定は。</p> <p>③例えば、集団接種はファイザー社製、個別接種は武田モデルナ社製などと分けるのはどうか。</p>	部長
			<p>(3)兵庫県は感染された人を入院もしくは専用施設入所を基本とした。12月15日現在、西脇市内の感染者は317名と発表されている。医療体制について問う。</p> <p>①西脇病院はコロナ陽性患者をどのくらい受け入れたのか。また市内の人数は。</p> <p>②ワクチン接種による重症化予防効果はあったのか。また西脇病院ではどのような治療を行っているのか。</p> <p>③市内で自宅療養を余儀なくされた方は何名いたのか。</p> <p>④自宅療養の方の食料など生活に必要なものをどのように得られたのか。</p>	
			<p>(4)西脇市役所内外の組織とのつながりについて、西脇市役所の中でも外（医師会など）とも協働することが大事だと思う。市長のリーダーシップと市民への情報発信が重要だと思うが市長の考えを聞く。</p>	市長
9	村井正信	「人権意識調査結果報告書」を受けての具体策を聞く	<p>(1)令和2年3月「人権についての市民意識調査結果報告書」が発行された。調査の目的として、平成15年の報告書では、今後より効果的な市民啓発の向上・確立を図る」とあり、令和2年の報告書では、「今後の人権施策を進めるための基礎資料とする」とある。「効果的な人権施策」から「人権施策」としているが、「効果的」を削除した理由は何か。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(2)市の調査結果では経年の結果が分からないので、県民意識調査を見ると、「人権をどのくらい身近な問題として感じているか」では、「非常に身近に感じる」、「かなり身近に感じる」が減少傾向にあり、「あまり身近に感じない」が増加傾向にある。また、「人権意識が高くなった」と感じる人は減少し、「どちらかと言えば高くなっている」と感じる人が増加傾向にある。「5～6年前に比べ人権侵害は減っている」の質問でも、減っていると感じた人は減少傾向にある。これは何を意味するのか。私は、人権に対する対策が市民に充分浸透していないのではないかと感じたが、市長（教育長）はどのように判断されたかを聞く。</p>	市長
			<p>(3)「同和問題に関して、あなたは今、特にどのような人権問題が起きていると思われますか」の質問に対して、結婚問題や同和地区への居住の敬遠があると認識している市民が多く、そして新たな課題として、インターネットを悪用した差別的な情報の掲載の問題が多くなっている。</p> <p>①西脇市のインターネットモニタリング事業（監視活動）について、現在どのように取り組んでいるか。 差別的書き込みがあればその対策はどのようにしているのか。</p> <p>②「インターネット上で「差別書き込み」を発見したらお知らせください」との記事を市の広報や、隣保館だよりなどに掲載し、市民に注意喚起を含め依頼することがより広い取組になると考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>③差別投稿などがあつた場合の削除基準はあるのか。なければ、どのような投稿の場合に削除要請を行うかなど、削除要請の基準、ガイドラインが必要と考えるが、市の考えを聞く。</p>	部長



順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(4)「たとえば、あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうされますか」に対し、「自分の意思を貫いて結婚する」、「できるだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が減少傾向にある。この減少傾向を市長はどのように受け止めているのか。</p>	市長
			<p>(5)「人権尊重の考え方に強く影響を受けたもの」の質問に対し、小学校、中学校時代の人権教育、家族や地域、友人とのふれあい、そして地区や自治会での講演会等が多くなっている。</p> <p>また、「部落差別などの同和問題が生じる原因や背景」については、家族、親戚から教えられる偏見・差別意識が多いことが分かる。</p> <p>そこで、これからの対策について聞く。</p> <p>①全ての世代の人が、小学校・中学校での人権尊重の教育に影響を受けている。人権意識が徐々に薄まる傾向にあるが、調査結果を受けて、学校教育現場では、どのような対策を検討しているのか(するのか)。</p>	部長
			<p>②18歳から39歳の層では、効果的な人権啓発活動として、「SNS、メールマガジン、ホームページなどのインターネット」が必要と考える人が多い。</p> <p>若い層への人権施策として、SNS等の有効活用を考えているのか。</p>	
			<p>③効果的な人権啓発活動で、講演会や研修会が指摘されている。西脇市では、市民向けに普段から積極的に取り組んでいるが、職員対象の職場研修会は、現状、どの程度行っているのか。</p> <p>積極的な取組が必要と考えるが、市長の見解を聞く。</p>	市長 部長